

令和 7 年 第 8 回 教 育 委 員 会 会 議 録

招 集 年 月 日	令和 7 年 6 月 3 日		
招 集 場 所	日南町役場 第 2 会議室		
開 会	午前 9 時 0 0 分 教育長宣告		
出 席 委 員	青戸教育長 西村卓也職務代行者 三森厚子委員 米積真紀委員 山脇亜紀委員		
欠 席 委 員			
議 案	議案第 3 3 号 令和 7 年度日南町民生費及び教育費 6 月補正（第 2 号）予算について 議案第 3 4 号 人権擁護委員候補者の推薦について 議案第 3 5 号 認定こども園にちなん十色 通園時町営バス利用要綱を制定することについて 議案第 3 6 号 日南町学校教育事業補助金交付要綱を一部改正することについて 議案第 3 7 号 日南町特色ある地域活動補助金交付要綱を廃止することについて 議案 2 9 号 （継続審議） 令和 6 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価（案）について		
議 事 日 程			
議 事 の 経 過			
日 程 そ の 他	発 言 者	発 言 の 要 旨	
挨拶	教育長	それでは、第 8 回教育委員会を開会する。	
事業報告及び 行事予定	教育長 教育委員	※資料により内容説明 ここまでの報告に質問はあるか。 なし。	

	教育長	議事録署名は山脇亜紀委員。
日程第 1 議案第 3 3 号	教育長 事務局 教育長 教育委員 事務局	日程第 1 議案第 3 3 号 令和 7 年度日南町民生費及び教育費 6 月補正（第 2 号）予算について。 ※資料により内容説明 何か質問はあるか。 美術館管理運営事務における日本芸術文化振興会助成金は、単年度のみの助成か。 今年度のみである。申請は前年度に行っており、この度、交付決定されたことにより歳入補正するものである。
	教育長 教育委員	それでは、議案第 3 3 号 令和 7 年度日南町民生費及び教育費 6 月補正（第 2 号）予算について、承認を求める。 異議なし。
日程第 2 議案第 3 4 号	教育長 事務局 教育長 教育委員 教育長 教育委員	日程第 2 議案第 3 4 号 人権擁護委員候補者の推薦について。 ※候補者について説明 何か質問はあるか。 なし。 それでは、議案第 3 4 号 人権擁護委員候補者の推薦について、承認を求める。 異議なし。
日程第 3 議案第 3 5 号	教育長 事務局 教育長 教育委員 事務局	日程第 3 議案第 3 5 号 認定こども園にちなん十色 通園時町営バス利用要綱を制定することについて。 ※資料により内容説明 何か質問はあるか。 今後、同様なケースが発生する可能性はあるのか。 （よほどのことがない限り）ない考える。「我が家も、我が家も」とならないよう、この度要綱を定

日程第 4 議案第 3 6 号	教育委員 事務局	め、申請があった家庭に対しては審議をして許可をしていきたい。 デマンドバスは、パセオで下車するのか。 こども園の前までデマンドバスに来てもらう。バスが園に着いたら職員がバスまで出迎え、ジュニアシートも降ろす。降園時は、保護者が迎えに来られるので、その時にジュニアシートをお返しする。
	教育委員 事務局 教育長 教育委員	デマンドバスの運転手が、後部座席の子どもの様子を常に注意を払いながら運転するのは難しいため、そのような方法でジュニアシートをバスに装着することは良いと考える。 該当の園児は、デマンドバスの助手席に座るよう話をしている。 それでは、議案第 3 5 号 認定こども園にちなん十色 通園時町営バス利用要綱を制定することについて、承認を求める。 異議なし。
日程第 4 議案第 3 6 号	教育長 事務局 教育長 教育委員 事務局 教育委員 事務局	日程第 4 議案第 3 6 号 日南町学校教育事業補助金交付要綱を一部改正することについて。 ※資料により内容説明 何か質問はあるか。 学校集金に係る引き落とし手数料は、先に口座に入れておかなければならないのか。 口座引き落としの際に手数料も同時に引き去るため、事前に入金しておく必要がある。 手数料は保護者負担ではないのか。 保護者負担ではない。公費での（直接）支払いを検討したが、銀行は引き落とし手数料についての請求書発行や後払いができないという。そのため、手数料分を補助金として学校に交付し、引き落とし前に口座へ入金しておく方法をとることとなった。
	教育委員 事務局 教育長 教育委員	このシステムは、いつから始まったものか。 昨年度からである。 それでは、議案第 3 6 号 日南町学校教育事業補助金交付要綱を一部改正について、承認を求める。 異議なし。

日程第 5 議案第 3 7 号	教育長 事務局 教育長 教育委員 教育長 教育委員	日程第 5 議案第 3 7 号 日南町特色ある地域活動補助金交付要綱を廃止することについて。 これまで、まち（むら）づくり協議会における社会教育活動に対してこの補助金を交付してきたが、令和 7 年度より、地域づくり推進課の一括交付金の中に完全統括することとなった。これを受けて、本交付要綱を廃止するものである。 何か質問はあるか。 なし。 それでは、議案第 3 7 号 日南町特色ある地域活動補助金交付要綱を廃止することについて、承認を求める。 異議なし。
日程第 6 議案第 2 9 号	教育長 教育委員 教育長	日程第 6 議案 2 9 号 （継続審議） 令和 6 年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価（案）について。 2 ページに記載している基準に基づき、各目標に対して A～D の 4 段階で評価を行い、実施状況、成果、課題を整理している。この評価について、項目ごとに区切って意見を求めたい。 ※以下、意見のなかった項目は省略 I 学校教育、幼児教育 1 ふるさとを愛し、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成 （1）ふるさとを活かした体験的な教育の展開 「ふるさとキャリア教育」「日南学のカリキュラム」について説明を願う。 「ふるさとキャリア教育」は、鳥取県が打ち出し、県の教育の柱としているものである。「郷土愛を培うことによって、郷土に貢献できる人材を育成しよう」という狙いがある。本町では、それを推進するために「日南学」と称し日南町に特化した郷土学習を進めている。例えばこども園では、植物や川などの身近な自然に触れ体験する、小学校、中学校では、日南町について学習していくものである。そして中学 3 年生になった時、日南町にどんなことが貢献できるか、自分の夢も含めて考えながら卒業することを願い、カリキュラムを作成している。これらは、体験的活動が主であり、「生活」や「総合的な学

	教育委員	習」の時間を活用して取り組んでいる。
	教育長	
	教育委員	
	事務局	
	事務局	県の推進する「ふるさとキャリア教育」を具現化したものが「日南学」ということか。 その通りだ。中学校での林業体験や職場体験も「日南学」としての位置づけである。 ①に「▲カリキュラムの見直しがまだ終わらなかった。令和7年度も引き続き行う。」とある。カリキュラムのすり合わせは、大変難しいものだと思うが、年間どのくらいの頻度で見直しに取り組んでいるのか。 3つの部会があり、その3部会が集まり合同部会をし、その後部会協議をする形のものが年に3回ある。このほか、部会長が部会員を招集し協議することができるのだが、単独での部会協議はなかなかできていないのが現状である。 昨年度の反省として「一貫教育」における重点項目の理解が不十分であったと認識している。こちらをしっかりと理解しないとカリキュラムの見直しにつながらないと考えている。 また、園小中それぞれの活動後の報告共有ができていなかった。園小中のつながりの確認とねらいの修正に取り組んでいきたい。令和4年度の「日南町教育の在り方検討会議」において作野島根大学教授がこの「日南学」を提唱され、答申を作成された。その内容を再度確認し、見直しを進めたい。
	教育委員	
	事務局	
	事務局	
	教育委員	園小中の教員が集まり3部会を構成しているのか。 その通りである。授業づくり部会、仲間づくり部会、日南学部会がある。 （2）学習の基礎・基本の定着、基本的生活習慣の定着 令和5年度の点検評価では、目標に「家庭との連携を深め、学習習慣や基本的生活習慣の定着を図る」ということが挙げられているが、6年度ではその目標がなくなっている。家庭との連携は、重要だと考える。現時点で目標を変更することは難しいと思うので、次年度には再考いただきたい。 実施状況に「好ましい学習習慣や生活習慣作り」とあるが、生活が多様化している現代において、「好ましい」像に対して共通認識を求めるのは難しいのではないか。 おっしゃられる意図はわかるが、ある程度の基準は示すことも必要だと考える。学力が高い秋田県や福井県では、何十年も「好ましい生活習慣」が定着している。下校後は祖父母が見守り、子どもは宿題をしてから遊びに出かける。加えて、子どもがやったことに対する学校の評価も素晴らしく、必ずノート
	教育委員	
	教育委員	
	教育長	

		には褒めるコメントが添えられる。 (3) 豊かな人間性と社会性の育成 「④キャリア教育の充実を図り、自らの進路や職業について展望を持って意欲的に生活する児童生徒を育成する」の項で「キャリア教育」と「ふるさとキャリア教育」「キャリアパスポート」と似たような言葉が並ぶ。さきほど「ふるさとキャリア教育」を日南町では「日南学」として取り組んでいるという説明を受けた。「日南学」と統一してはどうか。 「キャリア教育」とは、職業調べや高校調べなどの「進路学習」を指す言葉である。 「キャリアパスポート」とは県が作成しており、それに児童生徒が書き込んでいき、小学校から中学校へ、中学校から高校へと引き継いでいくものである。
	教育委員	
	事務局 教育長	
	教育委員	2 園・小・中の連携による教育と学力向上の推進 (1) 園・小・中の連携による教育の推進 「②年齢・学年や校種を越えた集団的な活動や交流活動を行い、多様な関わり合いを図る」は、令和5年度は全てB評価だったものが、6年度では全てA評価になっている。充実してきたということか。
	事務局	小学校ではP S P活動が定着し下学年に良い影響をもたらしている。中学校では、小学生の頃に心配をしていた生徒たちが、3年間を通して成長し、体育祭や文化祭でよい姿を見せてくれている。また、こども園の教職員もほぼ全員が新宿せいが子ども園での研修を終え、異年齢保育に活かすことができている。
	事務局	異年齢保育（活動）の成果の一例を紹介する。保護者からは「初めての小学校生活で不安があったが、こども園で関わってくれていた上級生がいるから安心だ」という声を聞くことができた。また、園児自身も「小学校に入ったら、〇〇くんが2年生にいるよね」というなど、こども園での異年齢活動が小学校で活着していると感じる。こうしたことがA評価の理由である。
	教育委員	(2) 学力向上の推進 「①学力を支える非認知能力の向上を目指した取り組みを幼児期から一貫して行うことにより、意欲的

事務局	な学びの態度や学習習慣を身につけさせる」の実施状況欄にある、「課題一覧表」とは、誰が作成し、どのように活用しているのか。 生徒が自身の家庭学習の計画を立てやすくするために、まず、各教科の教員が「いついつまでに、ここまで家庭学習をしてほしい」と課題と提出期限を示す。それを基に子どもたちが自分で学習計画を立てたものが「課題一覧表」である。そして家庭学習後には、担任と生徒が計画通りにいったかどうか、できなかったとすれば、どうすればよかったのかを話し、次の学習計画に役立てている。
教育委員	4 学校教育を支える教育環境の充実 (1) 創意工夫を生かした特色ある学校運営の推進
事務局	C S サポーターの活用でボランティアの人数が「延べ 348 人」と令和 5 年度の「延べ 518 人」から大幅に減少している。この原因は何か・
教育長	行事の中止などにより活動機会が減少したためである。
教育委員	審議の途中であるが、時間の都合により本日の審議はここまでとし、この議案については継続審議としたいが、よろしいか。
教育長	異議なし。
教育長	○教育委員会等の開催予定について 第 9 回 7 月 7 日 (月) 午後 3 時 3 0 分 役場 第 2 会議室
教育長	以上で第 8 回教育委員会を閉じる。

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会 教育委員